

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和4年度 第8号
令和5年1月25日発行
＜発行・編集＞
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
(上越市立直江津東中学校内)
TEL : 025-543-2729
FAX : 025-543-4150
E-mail : higashi-cs@jorne.or.jp

4小学校が集まる！5年マスコミ学習会

今年も中学校区の4小学校五年生183人が春日新田小学校の体育館に集まって**マスコミ学習会**を行いました。

お越しいただいたのは、以下のお二人です。

新潟日報社 上越支社	波多 郁之 様
JCVケーブルビジョン	鶴見 幸恵 様

講師のお二人からは、それぞれの仕事の内容を中心に、働く思いや大切にしていること、さらにはやりがいなどを子どもたちに伝えていただきました。また、キャリア教育に関わる、お二人の生き方について、職に就いたきっかけやいきさつなどをもとに分かりやすく丁寧にお話ししていただきました。

おそらく子どもたちの中には、アナウンサーを希望していたり、記者のような仕事に就きたいと考えたりする人がいるのではないのでしょうか。最前線で活躍しているお二人の話は、子どもたちにとって自身の将来像を描いたり、仕事選びや自分の生き方への大きなヒントになったりしたことと思います。情報が溢れ物事の価値や考えが多種多様になり、先のことを想像するのがなかなか難しい時代でもありますが、このように身近な大人から話を聞くことによって、子どもたち一人一人に感じることや考えることの何かを届けられたのではないのでしょうか。直東学園の5年生には、自分をしっかり見つめ、先を見て、行動を起こしていける人間になってほしいと願うばかりです。

さて、このマスコミ学習会は、5年社会科の通信や放送に関わる学習にも繋がっています。そのため、社会科の学習理解を深めたり、学習意欲を高めたりする貴重な時間でもありました。3学期には、各校でJCVケーブルビジョンへの見学を予定しています。去年は、コロナ禍で思うように見学ができませんでしたが、感染対策を行い、子どもたちの学びのためにも学習の機会を増やしていきたいと思えます。

直東学園で、「キャリア教育」を中核とした生き方教育を推進して、8年目となります。そのキャリア教育でねらう「育てたい資質・能力」は右の表です。この後のページで、各学校の取組を掲載していますので、どうぞご覧ください。

また、キャリア教育は、全教育活動を通して実践するものです。行事だけでなく、学級の係活動の仕事振りや、(生き方モデルとしての)教師の一挙手一投足も全てがキャリア教育に通じています。以下は、直東学園で行っているキャリア教育に関係する共通取組です。



鶴見アナ・波多記者の講話



話を真剣に聞く5年生たち

育てたい資質・能力

人間関係形成能力

自己理解・自己管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

郷土愛

小4：十歳を祝うつどい(1/2成人式)

小5：マスコミ学習会

中1：ようこそ先輩

小1～中3：総合や特別活動の時間等でのキャリア教育の取組

中2：立志式 等々

北諏訪小学校の取組

【キャリア教育の視点でとらえる生活科・総合的な学習の時間】

生き物や自然とふれ合いながら、人や生き物とのかかわりを考えた1年生。野菜栽培を通じて友達や先生方、地域の人など多くの人とのかかわっている2年生。大豆を育てたり調べたりするうちに生まれた疑問を解決し、学びを深めている3年生。飯田川調査を通じて、川が地域にもたらす恵みや災い、地域と飯田川とのつながりを学んだ4年生。稲作体験を通じて、食を生産する苦勞を体感し食の大切さが分かった5年生。上越の偉人についての学習や様々な職業の方々のお話を聞いて自分の生き方を考えた6年生。



子どもの意識に沿った活動を展開することで、学びを深め、自己を見つめ直したり、地域のよさを再認識したりしています。



【他学年とのかかわりを重視した遠足】

縦割り班で歩いた遠足では、低学年を思いやる高学年の姿や励まされて最後まで歩き通す低学年の姿が見られました。



また、学年ごとに決まっている仕事を率先して行う子どもたちの姿がありました。

人とのかかわりながら、自分の役割を果たそうとする子どもたちが増えました。

保倉小学校の取組

【自分で考える 動く(かかわる)】

生活科・総合的な学習の時間を中心に体験を伴った学習を行っています。各学年の活動の中で、疑問や悩みが生まれ、それを解決するために聞いたり調べたりしました。身の回りのことに関心を持ち、話し合いを進めながら、自分の今と未来について考えるよい機会となっています。



- 1年生 植物や動物（羊）の世話を通して、自分にできることは何かを考え、実践する力を付けていきました。
- 2年生 地域の方から野菜の作り方を教わり、野菜にとってよりよい環境を整えることで、豊作に繋がり「育てる」喜びを感じました。
- 3年生 校区を知り、地域の方の思いに触れ、保倉のよさを見付けました。地域を大切にしようという気持ちが芽生えました。
- 4年生 白鳥の保護に力を尽くしている方々とかかわり、環境問題に目を向け、地域を始めとして未来の自然について考えました。
- 5年生 農業への熱意や苦勞をお聞きし、米作りの大変さを実感しました。また販売する側の難しさも知りました。
- 6年生 高齢者施設を訪れ、入居者との触れ合いや仕事をしている方へのインタビューを通じて、相手に合ったかかわり方を学びました。また、他の職業についても聞く機会があり、就労の意味を考えるきっかけとな



有田小学校の取組

【低学年】～人間関係形成、自己管理～

1年生は、自然に親しみ、アサガオの栽培やヒツジの飼育をしました。自分から対象にかかわることや、生命を大切にすること、友達と一緒に協力するよさを学びました。

2年生は、自分で調べながら野菜を育てました。地域やJAの方に教えていただく中で、仲間と活動する楽しさを学びました。



大根の収穫をして、喜びを分かち合いました。

【中学年】～共感性、情報活用～

3年生は、町探検を通して地域の「すてき」を発見する活動を行いました。地域の「すてき」を見つけに行ったり、地域の方から話を聞いたりして、地域への理解を深めました。

4年生は、関川にかかわる活動を通して、身近な環境について学びました。地球環境学校の近くを流れる中ノ俣川と比べ、水質検査や生き物調査などから、新しい発見や学びを新聞にまとめて発信しました。

【高学年】～自己管理、協働性～

5年生は、稲作体験を通して、地域愛を育み、米づくりを学んだり、農業の課題を考えたりしました。お米を販売する活動を通して、仲間と共に活動するよさを学びました。

6年生は、様々な職種の方から働くことの意義や社会に出るために必要な力を学びました。話を聞いたり体験したりすることで、その仕事の大切さを考えました。これら活動を通して、これからの自分の生き方や将来に向けての夢を考えました。



車イス体験を通して、福祉のあり方や、自分たちができることを考えました。

春日新田小学校の取組

【児童会行事『ふじの実キッズ』】

毎年、秋に行う児童会行事があります。それを「ふじの実キッズ」と言います。各学級ではこの行事が近づくと何度も話し合いアイデアを出し合います。当日は、お客さんを招き入れるお店側とそこを訪れるお客さん側に分かります。教室は子どもたちで作った遊びやゲームの空間になります。多くの子どもたちは、この活動をとっても楽しみにしています。なぜなら、自分たちが考えたアイデアでお客さんを笑顔



にしたり喜ばせたりできるからです。そこには誰かを楽しませることの心地よさを感じている多くの子どもたちがいるということになります。相手のことを思って何かを成し遂げる、学級の友達の支えや協力に感謝する、来た人を見て笑顔にできたという達成感が味わえる、最後に学級が団結できたという気持ちになる。



様々な感情や気持ちを育んでいます。それがこの「ふじの実キッズ」です。

【6年ふじの実活動『人から学ぶ』】

6年生の総合的な学習の時間では、「未来をえがこう！プロフェッショナルに学ぶ」と題して、カメラマン、幼稚園の先生、飲食店経営者、医師、美容師など、地域の様々な職業の方からお話を聞きました。仕事内容はもちろん、やりがいや厳しさ、心掛けていることなど、子どもたちにとって興味深いお話をたくさん聞かせていただきました。また、仕事で使う道具を見せていただいたり、実演をしていただいたりして、心に残る貴重な体験となりました。ここでの学びを将来にどう生かしていくのか、3学期にまとめていきます。



直江津東中学校の取組

【職業講話(1年生の取組)】

今年度はハローワークと地域の企業の方々から、仕事をするために大切なことをお話していただきました。また、理容業の体験授業もしていただきました。中学生のときに頑張ることとして、挨拶をしっかりとすることやコツコツ努力する大切さを学ぶことができました。



【立志式(2年生の取組)】

式の前半では、新1年生に東中をPRする目的で制作したCMを上映し、来賓の方々や参列した保護者の方々に、東中の素晴らしさと自分達の東中への思いを発表しました。



後半は、青少年育成会議会長の熊木敏夫様から立志バッジをいただき、『5年後の自分』というテーマ

で、近い将来像や目標を発表し合って、さらに成長を目指す決意を確認しました。

【卒業生に話を聞く会(3年生の取組)】

高校2年生の6人来ていただきました。パネルディスカッションでは、卒業生から高校生活について詳しく教えていただきました。また、中学時代のエピソードを交えたアドバイスもありました。お話の内容や先輩方のしっかりした姿に、中学3年生は大きな刺激を受けていました。きっと今後の進路に生かしてくれるものと思います。



小学校6年生 外国語科の実践

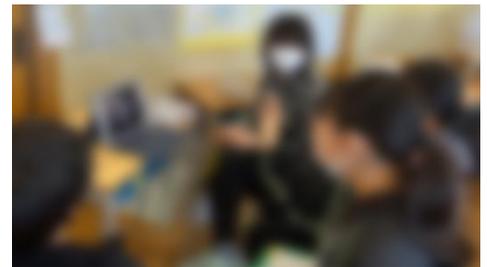
『小学校の思い出を発表し合おう』

外国語科の学習で、春日新田小学校と有田小学校の6年生がオンラインで交流し、小学校の思い出を英語で発表し合いました。

両校の6年生の多くは、分離前の春日新田小学校の最後に1年生として同じ校舎で学んだ仲間であり、また多くが直江津東中学校に進学します。かつてのクラスメイトに向けて、自分たちの小学校生活での一番の思い出を、英語で発表し合いました。

オンライン交流は、11月21日(月)と28日(月)の2日に分け、学級ごとに3回行いました。8~9人の班で、ビデオ通話を使って発表しました。

どちらの学校でも、事前に学校行事でどんなことをしたのか、その際の気持ちなどを英語だけで伝わるように、内容を吟味して熱心に練習していました。



【春日新田小学校】



【有田小学校】

交流当日は、相手に伝わるように大きな声でジェスチャーも交えながらわかりやすく話そうとする姿、うなずいたり、あいづちをうったり、ほめたりなど相手意識をもって聞こうとする様子が見られ、これまで学習したことをよく生かしており、和やかな雰囲気での交流が進んでいました。

事後の感想には、「(相手の)小学校の行事について知ることが出来てとても楽しかった。」「(相手の)英語がとても上手でびっくりした。自分もがんばろうと思った。」

「久しぶりになつかしい友達の顔が見られて嬉しかった。中学校で会うのが楽しみ！」など前向きな感想が多く聞かれました。